

AI活用研究会



講師 山田 稔久氏

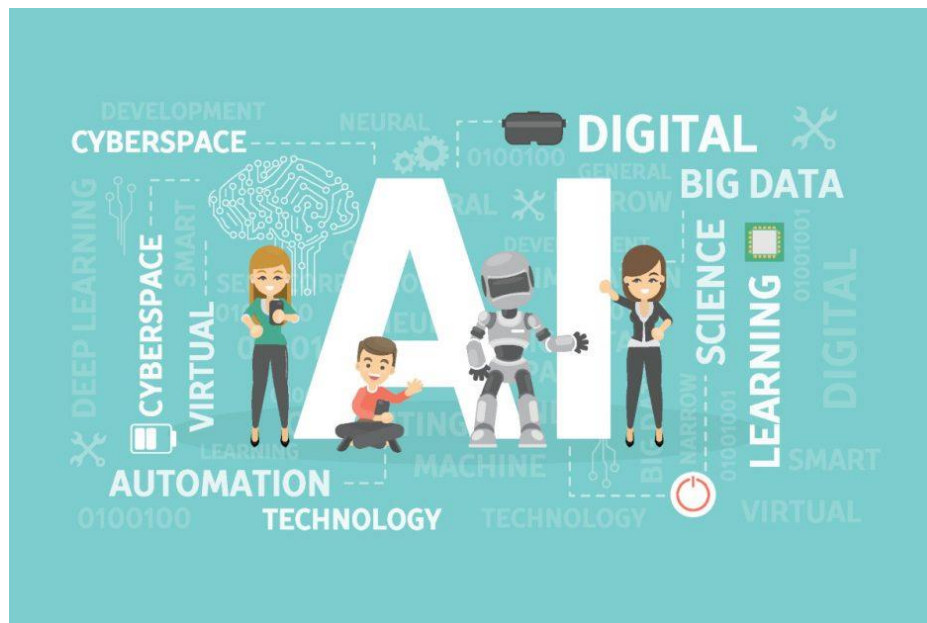
補佐 ABC協会 副会長 細川泰秀

スクール活動の概要

AIの活用は、画像認識、チャットポット、統計分析をビジネスでの活用が進んできていますが、その技術は多様でどのAI技術を自社のどこに生かせば良いのか、悩む場合が多いのも事実です。AI技術を幅広く理解し、その特徴を生かして自社への適用を考えねばなりません。AI全般を幅広く解説できる経験豊かな山田稔久リーダーを中心に、各種AI技術の特徴を正しく理解し、基礎を学び、今後の発展を考える仲間を求めています。

全体を理解し各社への適用を検討したうえで、共通課題としてAIの活用が遅れている情報産業へのAI適用を検討します。

- 1 AIとは（最近のAI事情）
- 2 AIの適用範囲/出来る事/出来ないこと の限界
- 3 AI各種手法の特徴と活用事例
- 4 AI標準化の動向と遵守事項
- 5 AIプロダクト契約ガイドライン・品質マネジメント
- 6 AIをシステム開発に適用する場合の研究



参加対象 事業責任者や経営者
システム部門エグゼクティブ
システム開発でAIを活用したいと考えている方

山田稔久の経歴 東京大学で情報工学基礎を学び、テキサス大学でAI理論に磨きをかけ、新日鉄EI事業、NSSOL、TEXSOLを通じて多くのAIプロジェクトを経験された、幅広くAIを解説・指導できる講師です

参加費用

・A B C協会の会員企業	55,000円
・会員企業以外	66,000円

開催日 全6回 15:00～17:30 (6月～3月) コロナの問題が解決するまではテレワークで実施します
開催予定人数 10名